

令和7年度

トータル美容専門課程

履修の手引き

トータル美容学科

高度トータル美容学科

ハリウッド美容専門大学校

ハリウッド美容専門大学の三つのポリシー

本校の求める人材像は次の通りです。

1 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本校は、一流のトータルビューティションを目指す、次のような人材の入学を期待しています。

- (1) 人が美しく輝くことに感動する感性と実践をする熱意を持つ人
- (2) トータルビューティの専門職業を天職にする強い信念を持つ人
- (3) 人を美しく幸福に導く美の天使を目指す職業に使命感を持つ人

2 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

本校は、ビューティの理論と実践が有機的に結合する、産学協同による教育課程を編成しています。

- (1) 人が美しく輝くトータルビューティの美学6要素である、精神美・健康美・容姿美・服飾美・生活美・環境美を総合的に修得できるカリキュラムによって専門能力を育成します。
- (2) 美の専門職業人であるビューティシャンとしての潜在能力を育てる育学7要素である、志育・美育・徳育・智育・体育・時育・財育の教育によって総合的に教養能力を育成します。
- (3) トータルビューティの専門職として必要な各種の免許、資格を取得するためのトータル美容専門課程として、トータル美容学科と高度トータル美容学科を設置しています。

3 称号授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本校は、以下のような能力を身に付けかつ所定の単位を修得した学生に、次の称号を授与します。

- (1) トータル美容学科では、美容師免許の取得及びヘア・メイク・ネイル・エステ・ファッション・コスメなどのトータルビューティの基礎を総合的に学び、高度な専門資格を取得した者に、専門士の称号を授与します。
- (2) 高度トータル美容学科では、美容師免許の取得及びヘア・メイク・ネイル・エステ・ファッション・コスメなどのトータルビューティの実践的で高度な専門資格を取得した者に、大学院進学資格ともなる高度専門士の称号を授与します。

	科目名	ネイルⅡ	単位・時間数	1単位・32時間	履修対象	2年
	講座名	ネイルⅡ	担当者		履修区分	

授業の概要と方法

サロンワークで通用するネイルケア・リペア・チップラップ・フラットアートに関する技能および知識を、実習形式で学ぶ。

講義の達成目標

JNECネイル検定2級合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	ネイルイクステンション(チップラップ)基礎知識 ネイルケア … テーブルセッティング、カウンセリング、手指消毒、ポリッシュオフ、ファイリング
第 2回	ネイルケア … プッシュバック、プッシュバック、ニッパー、ガーゼクリーン
第 3回	イクステンション … チップラップ
第 4回	ネイルケア … タイムトライアル 35分 チップラップ … タイムトライアル 20分
第 5回	ネイルケア … タイムトライアル 35分 チップラップ … タイムトライアル 20分
第 6回	全工程 タイムトライアル
第 7回	フラットアート … テーマにそってデザインを考える 全工程 タイムトライアル
第 8回	全工程 テスト

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
- ・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

日本理美容教育センター 美容実習教科書
参考文献： 日本理美容教育センター 美容技術理論教科書
ネイル教材

担当者のプロフィール

担当者 は3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から美容師の仕事の幅を広げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

	科目名	ネイルⅢ	単位・時間数	1単位・40時間	履修対象	2年
	講座名	ネイルⅢ	担当者		履修区分	選択

授業の概要と方法

トップレベルのネイリストとして必要とされるアクリルスカルプチュア、チップオーバーレイ、3Dミックスメディアアートなど総合的な技能及び知識を、実習形式で学ぶ。

講義の達成目標

JNECネイル検定1級合格を目指す。

授業の内容・計画

第 1回	アクリルネイルの基礎知識、 ネイルケア テーブルセッティング、ドライケア、プレパレーション
第 2回	ネイルフォームの付け方 イクステンション ミクスチュアについて
第 3回	スカルプチュア プレパレーション、アプリケーション
第 4回	スカルプチュア ファイリング
第 5回	スカルプチュア プレパレーション、アプリケーション スカルプチュア ファイリング～シャイナー
第 6回	チップオーバーレイ プレパレーション、アプリケーション チップオーバーレイ ファイリング～シャイナー
第 7回	3Dアート① ミックスメディアアート テーマにそって 3Dアート、フラットアート、エンボスアート
第 8回	3Dアート②
第 9回	全工程 タイムトライアル 150分
第10回	全工程 テスト 150分

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
- ・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

日本理美容教育センター 美容実習教科書
参考文献：日本理美容教育センター 美容技術理論教科書
ネイル教材

担当者のプロフィール

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯
配色検定	講義・演習	必修		1年・後期	金 曜 日 10:40 ~ 12:10
講座名	授業担当者	実務経験			
配色検定	細倉 麻美				

授業概要

配色検定3級合格を目指して、色彩理論CUS®を学ぶ。CUS®色彩理論の基本を学び、配色ルールのもたらす調和やイメージを理解する。カラーカードを使用した演習で色彩理論を理解すると共に、重要箇所を板書し、更にパワーポイントを使用した資料で視覚からの理解を深める。

達成目標

CUS®色彩理論の基本を学び、一定の配色ルールに基づいた色の選び方がもたらす効果やイメージの伝達方法としての色の知識を増やす。また、得られた知識でファッションを中心にヘアメイク、ネイルなど全般にわたる配色調和を活かした効果的的確なアドバイスができるようにする。

授業計画

回	単元名	内容
第 1回 10/24	色彩理論 ① CUS® 表色系	・CUS®とは ・CUS® 色相環と色調図を理解する テキストP2～P9
第 2回 10/31	色彩理論 ② CUS® 色相 配色	・色相環と色調図の理解① ・CUS® 色相配色を理解する テキストP10～P17
第 3回 11/7	色彩理論 ③ CUS® 色調 配色	・色相環と色調図の理解② ・CUS® 色調配色を理解する テキストP18～P23
第 4回 11/14	色彩理論 ④ CUS®ア ンダー トーン	・色相環と色調図の理解③ ・CUS® Bu(ブルーアンダー トーン)とYu(イエローアン ダー トーン)を理解する テキストP24～P34
第 5回 11/21	色彩心理 ① 三属性 と感情 効果	・色相環と色調図の理解④ ・色彩理論①～④復習、三属性と感情効果を理解する テキストP35～P37
第 6回 11/28	色彩心理 ② 色彩カ ゴリー	・色相環と色調図の理解⑤ ・三属性と感情効果の復習と12の色彩カテゴリーを理解する テキストP38～P61
第 7回 12/5	模擬テスト	・模擬テスト、答え合わせ
第 8回 12/12	色彩理論 まとめ	・色相環と色調図の理解⑥ ・3級出題率の高い箇所の復習と質疑応答

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： 次回の授業内容をアナウンスするので、テキストに目を通しておく。
 授業後： 各回の確認問題を再確認しテキストの練習問題を行う。課題の提出(指示した時のみ)

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、模擬試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点で評価する。100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト： タイトル「配色検定®3級公式テキスト」著者 [] 出版社 [一社: 日本カリスト協会]
 用具： カラーカード(CUS®157)など必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
:	～

2025年度 年間授業計画

科目名 ファッション科目	授業形態 講義	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 後期授業	開講時間帯 金 曜 日 9:00 ~ 10:30 1 時限
講座名 ファッション基礎	授業担当者 山田 晶子		実務経験 販売、MD、バイイング、ディレクター等の職務経験、およびビジネス授業の講師実務経験		

授業概要

社会潮流をベースに、生活者視点からファッション産業の全体像、および「お客様に求められる」ファッション商品の基礎知識を学ぶ。

達成目標

トータルビューティを創造していくためのキャリアの要素と成り得る、ファッション入門編の理解を目指します。

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回	10/24	オリエンテーション	社会潮流とファッション ＜「ファッションは時代の鏡」と言われる様々な事例を生活者視点から感じる＞
第2回	10/31	F産業の構造(1)	「テキスタイル～アパレル～リテール」の流れと概要を学ぶ
第3回	11/7	お客様が求めるもの	ファッション製品の商品知識を学ぶ
第4回	11/14		「ファッション製品の品質管理」「店舗の環境づくり」を学ぶ
第5回	11/21	F産業の構造(2)	「ファッションマーケティング」「ファッションマーチャライジング」の流れと業務、および職種を学ぶ
第6回	11/28	マーケティング実習	ショップリサーチ<リサーチの重要性、ショップリサーチ課題解説>
第7回	12/5		リサーチ発表<リサーチレポート提出・発表と講評>
第8回	12/12	MKTの現在	社会潮流による生活者マインドの変化から、商業施設の変化を学ぶ

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：前回の授業の内容確認

授業後：授業内容の確認

評価方法

出席、提出物、模擬試験結果を評価の対象とする。評価は2/3以上の出席者を対象に提出物と模擬試験を評価。評価の割合は出席状況20%、提出物と模擬試験80%

100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

テキスト：都度、必要な資料を配布

用具：特になし

オフィスアワー

その他

金 曜 日
12:10 ~ 12:30

特になし

2025年度 年間授業計画

科目名 ファッション科目	授業形態 講義	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 後期授業	開講時間帯 木 曜日 13:00 ~ 14:30 3 時限
講座名 キャリアデザイン I	授業担当者 依田 由利子		実務経験 マーケティングディレクター、ファッションアドバイザー、それらを教える専門学校講師としての実務経験		

授業概要

ファッション知識を学びトータルビューティの領域で新たなるスペシャリストとしてキャリアを積むためのステップを学び、自らの将来の仕事に結び付けていく。1回の授業を2部に分け、講義と実習・点検・発表で展開

達成目標

過去の自分を分析し、未来の自分の結びつけるために、今現在の環境で何をどう学んでいくかを具体的に理解し、学習に取り組む

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回	10月30日	オリエンテーション キャリアデザインとは/今、キャリアデザインが必要な理由	キャリアをどうやってデザインする？ マインドマップを使う
第2回	11/6	業界を知る ファッション業界の仕事について	マインドマップ制作①/過去の自分分析 実習と点検・アドバイス
第3回	11/13	トータルビューティについて	マインドマップ制作②/現在の自分分析 実習と点検・アドバイス
第4回	11/20	リアルケーススタディ/美容学校出身で ファッション業界で働く人	マインドマップ制作③/未来の自分を描く 実習と点検・アドバイス
第5回	11/27	マインドマップを使って自分プレゼン	科目連携について キャリア達成のために重んじる学び方
第6回	12/4	キャリア・デザイン・ファイル作成実習	実習と点検・アドバイス
第7回	12/11	キャリア・デザイン・ファイル作成実習	実習と点検・アドバイス
第8回	12/18	キャリア・デザイン・ファイル発表と提出	発表フィードバック

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：前回の授業の内容確認

授業後：授業内容の確認

評価方法

出席、提出物(試験)を評価の対象とする。評価は2/3以上の出席者を対象に時間内提出物と課題(試験)を評価。評価の割合は出席状況20%、時間内提出物と課題(試験)80%
100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」とする

テキスト：使用予定なし

用具：スマホ

オフィスアワー

その他

木 曜日 14:35～14:50	特になし
---------------------	------

2025年度 年間授業計画

講座名 プレゼンテーション	授業担当者 柳 延人・山田 晶子	講時間帯 金曜1・2時限(9:00～10:30、10:40～12:10)
----------------------	-------------------------	---

授業概要

- ・ファッションビューティコース1年次で学んだ科目の内容を組み合わせながら、「自己実現」「社会性(ニーズ)」「ワクワク感」の表現手法を学ぶ。
- ・自らが「調査・考案・創作」できる様、アクティブラーニング手法で運営する。

達成目標

リアルに展開できるブランド創出を目指し、1年次で学習した内容を活用。ブランドイメージを具現化できる様、ファッションを中心に、ヘア・メイク・ネイルを考案・表現。ブランドイメージを表現できるプレゼンテーションが実施できる能力を醸成する。

回	単元名		内容
第1回	4月18日	「ブランド構築」にあたって	自己創造性分析、アイテム研究、ビジュアルリサーチ、トレンド・メディア研究
第2回	4月25日	5W2Hの確定	グループワーク(グループプランニング・ミーティング)、ブランド立ち上げ
第3回	5月9日	ブランド立上げ(1)	クリエイティブワーク(デザイン、ヘアメイク、スタイリング、テストシューティング)
第4回	5月16日	ブランド立上げ(2)	クリエイティブワーク(デザイン、ヘアメイク、スタイリング、テストシューティング)
第5回	5月23日	ブランド立上げ(3)	クリエイティブワーク(デザイン、ヘアメイク、スタイリング、テストシューティング)
第6回	5月30日	プレゼンテーション(1)	ポートフォリオ制作(+フォトグラファーによるスチールワーク)
第7回	6月6日	プレゼンテーション(2)	ポートフォリオ制作(+フォトグラファーによるスチールワーク) ※2時限のみ(予定)
第8回	6月13日	ブランドデビュー	デザインワーク(ブック制作) ※2時限のみ(予定)
第9回	6月20日	ブランドデビュー	ブック制作、各班 プレゼンテーション

授業前の準備・予習および授業後の復習

- 授業前: 次回の授業内容をアナウンスするので、グループ内で準備を行なう。
 授業後: 必要に応じて、該当回までのワークを進行する。

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、演習発表の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点で評価する。

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態 実習	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 前期	開講時間帯 木・金 曜日 1～2 3～4 時限
講座名	授業担当者 有村		実務経験		

授業概要

ネイルケア・赤ポリッシュカラーリング・フラットアートを学び、JNECネイル検定3級に準じて60分間で仕上げるようにする。

達成目標

JNECネイル検定3級合格を目指す。

授業計画

回	単元名	内容
第1回	ネイル理論 ネイルケア	ネイルの歴史、ネイル技術体系、爪の構造と働き テーブルセッティング、カウンセリング、ネイル技術用品、手指消毒
第2回	ネイルケア	ファイリング、プッシュアップ、プッシュバック、ニッパー
第3回	ネイルケア	ネイルケア工程30分トレーニング
第4回	ネイルカラーリング	油分除去、ポリッシュの塗布方法、ベースコート、赤ポリッシュ、トップコート塗布方法、修正
第5回	ネイルカラーリング	ネイルカラーリング工程30分トレーニング
第6回	フラットアート	絵の具の扱い方、筆の動かし方、5分トレーニング
第7回	全行程60分 トレーニング	60分トレーニング
第8回	全工程60分 トレーニング	60分トレーニング

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(20点満点)、授業態度等の評価点(20点満点)を総合した得点について。

使用教材

テキスト：日本理美容教育センター 美容実習教科書、日本理美容教育センター 美容理論教科書

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画

科目名 美谷実習	単位数 1	履修形態 必修	開講時期 2年前期	曜日 ～
講義名 エスアⅡ	授業担当者 スF内 麻美	実務経験		

授業概要

バントメイクが クレジットから マイサージ イエブまでの 基本的な バントメイクを学ぶ。

達成目標

基本的な バントメイクのスキルを身につける

授業計画

回	単元名	内容
第1回	4月17日	バントメイクが (教材配布) ターバン お返し スクラムの4つの種類
第2回	4月24日	クレジット クレジット スクラムボール スローサーフ 拭き方
第3回	5月8日	スクラム バリケード 18番 1～6
第4回	5月15日	スクラム バリケード 18番 7～12
第5回	5月22日	スクラム バリケード 18番 13～18
第6回	5月29日	スクラム クレジット ～ マイサージ イエブ
第7回	6月5日	スクラム クレジット ～ マイサージ イエブ
第8回	6月12日	スクラム クレジット ～ マイサージ イエブ

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：必要に応じて課題の指示 教材を返却して習得する

評価方法

本属に4/5以上。態度点検、実技試験で総合的に判断

使用教材

テキスト：タクト 著者（ ） 出版社（ ）

用長：必要に応じて指示します。

オフイスアワー ー その他

曜日

2025年度 年間授業計画

科目名 美谷実習	単位数 1	履修形態 必修	開講時期 水	曜日 ～
講義名 エスアⅡ	授業担当者 スF内 麻美	実務経験		

授業概要

達成目標

授業計画

回	単元名	内容
第9回	6月19日	実技試験 60分 ノンストップ イエブ
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		
第16回		

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(60点満点)、出席状況等の評価点(20点満点)、授業態度等の評価点(20点満点)を総合した得点について。

使用教材

テキスト：タクト 著者（ ） 出版社（ ）

用長：必要に応じて指示します。

オフイスアワー ー その他

曜日

2025年度 年間授業計画

科目名 美答実習	履修区分 必修	開講時期 2年後期	開講時間帯 曜日
講義名 エスエヌ	担当担当 大内麻美	単位数 1	単位 1

授業概要

機器の取り扱い、プログラミング、ネットワーク、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク技術の習得

達成目標

ネットワーク技術の習得

2025年度 年間授業計画

科目名 美答実習	履修区分 必修	開講時期 1	開講時間帯 水
講義名 エスエヌ	担当担当 大内麻美	単位数 1	単位 1

授業概要

機器の取り扱い、プログラミング、ネットワーク、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク技術の習得

達成目標

ネットワーク技術の習得

授業計画

回	単元名	内容
第1回	11月 20日	機器取扱説明、機器の使用
第2回	11月 27日	デコルタ、背中 (機器)
第3回	12月 4日	デコルタ、背中 (機器) 復習
第4回	12月 11日	プログラミング、バック (機器)
第5回	12月 18日	プログラミング~デコルタ、背中 (機器)
第6回	1月 15日	プログラミング~デコルタ、背中 (機器)
第7回	1月 22日	実技言試験
第8回	1月 29日	まとめ

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後：必要に応じて課題の指示
評価方法：必要に応じて課題の指示

出席率が低い。態度不良、実技試験で総合的に判断

使用教材

テキスト：ケイトウ 1著者 (出版社)
用具：必要に応じて指示します。
オフィスアワー：その他

曜日：～

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後：必要に応じて課題の指示
評価方法：必要に応じて課題の指示

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(80点満点)、出席状況等の評価点(20点満点)、授業態度等の評価点(20点満点)を総合した得点について。

使用教材

テキスト：ケイトウ 1著者 (出版社)
用具：必要に応じて指示します。
オフィスアワー：その他

曜日：～

2025年度 年間授業計画

科目名 選択実習	授業形態 必修	単位数 1	準備期間 1ヶ月前期～ 後期	開講期間 ～
講義名 応用工学II (6単位)	授業担当 大内 麻美	実務経験	曜日 ～	時間 ～

授業概要

リハビリテーションの目的は、ハートに与えるダメージで、筋肉や神経をいぼす

達成目標

ボディエクスライツのインジカト以外の施行を身に付ける

授業計画

回	単元名	内容
第1回	6月26日	バットキック 前操作 下肢後面 1～12
第2回	7月3日	下肢後面 13～32
第3回	7月17日	下肢後面 1～32 復習
第4回	7月24日	腰部 1～23
第5回	7月31日	下肢前面 1～22
第6回	8月7日	上肢 1～24
第7回	8月14日	腹部 1～13
第8回	8月21日	頸部・頭部

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後：必要に応じて課題の指示
評価方法：必要に応じて課題の指示

出席率 4/5 以上。態度 良好。実技試験で総合的に判断

使用教材

テキスト：ボディエクスライツ 大内 麻美 著
資料：必要に応じて指示します。
オフィスアワー：その他
曜日：～

2025年度 年間授業計画

科目名 選択実習	授業形態 必修	単位数 1	準備期間 2ヶ月前～ 後期	開講期間 ～
講義名 応用工学II (6単位)	授業担当 大内 麻美	実務経験	曜日 ～	時間 ～

授業概要

達成目標

授業計画

回	単元名	内容
第9回	10月16日	下肢前部 下肢前面 1～22
第10回	10月23日	前操作～ 1～25
第11回	10月30日	前操作～ 1～25
第12回	11月6日	前操作～ 1～25
第13回	11月13日	実技試験
第14回		
第15回		
第16回		

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後：必要に応じて課題の指示

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(60点満点)、出席状況等の評価点(20点満点)、授業態度等の評価点(20点満点)を総合した得点について。

使用教材

テキスト：ボディエクスライツ 大内 麻美 著
資料：必要に応じて指示します。
オフィスアワー：その他
曜日：～

2025年度 年間授業計画

科目名 エステ	授業形態 実習	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 1年・5月～10月	開講時間帯 月 曜日	①9:00～11:20 ②12:10～14:30
講座名 エステ I	授業担当者 半藤 径子		実務経験			

授業概要

ハリウッドフェイシャルマッサージの効果体験をする

達成目標

- ・ハリウッドフェイシャルマッサージ基本技術の習得
- ・衛生・消毒方法の徹底
- ・モデル(お客様)の誘導心配り

授業計画

	単元名	内容
第 1回	フェイシャル実習	エステティックとは(範囲、心得、注意点)/今後の予定/実技試験について/検定について/ 手指名称 /ウイッグトレーニング(ターバン、スチームタオル作り方と実際、化粧水と乳液の 塗布) エステ室の使い方/ベットワゴンセッティング展示
第 2回		相モデル実習 ベットメイキング、お通し、ターバン、クリーム塗布、スチームタオル、整肌(化粧水・乳 液)
第 3回		相モデル実習 ベットメイキング、お通し、ターバン、クリーム塗布、1～6、スチームタオル、整肌
第 4回		相モデル実習 ベットメイキング、お通し、ターバン、1～12、スチームタオル、整肌
第 5回		相モデル実習 ベットメイキング、お通し、ターバン、1～18、スチームタオル、整肌 ※検定について説明
第 6回		相モデル実習 ベットメイキング、お通し、ターバン、1～18、スチームタオル、整肌※検定7/17メ切
第 7回		試験に向けて注意事項と流れ ※検定筆記練習問題①②③配布 道具準備、ベットメイキング、お通し、ターバン、マッサージ(1～18)、スチームタオル、整肌、片付け
第 8回	フェイシャル実習 (成績兼実技検定)	実技試験
第 9回	フェイシャル実習	相モデル実習 ベットメイキング、お通し、ターバン、クレンジング、スチームタオル、酵素パッ ク、スチームタオル、整肌
第 10回	フェイシャル実習	相モデル実習 ベットメイキング、お通し、ターバン、クレンジング、スチームタオル、1～18、 スチームタオル、整肌
第 11回	脱毛・Wバック実習	脱毛体験、ワックスパック(手)

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布(18番マッサージプリント)
授業後：・必要に応じて課題の指示 動画の視聴について①スチームタオル②1～6③7～12④13～18 ・化粧水、乳液手順teamsにて投稿確
認

評価方法

評価は、授業に4/5以上出席した者を対象として、実技試験の得点の学習成績(70点未満不合格)、
出席状況等の評価点、授業態度等の評価点を総合した得点

使用教材

テキスト：ハリウッドエステ18番オリジナルテキスト 著者 []出版社[]
用具：必要に応じて指示します。

2025年度 年間授業計画

科目名 エステ	授業形態 実習	履修区分	単位数 1	履修時期 2年・10月～12月	開講時間帯 火・水 曜日 ①9:00～12:10 ②13:00～16:10
講座名 応用エステⅢ	授業担当者 半藤 径子	実務経験			

授業概要

フェイシャル機器の操作 フットケア

達成目標

<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャル機器の操作方法を習得 ・肌別の機器トリートメントの理解

授業計画

	単元名	内容
第1回	フェイシャル実習	ディープクレンジングとは/フェイシャル機器について/①スチーム+酵素 ②スチーム+ブラシ
第2回		ディープクレンジング①ディスインクラステーション②ゴマージュ
第3回		機器トリートメント ①イオンフォレーゼ②パター1回目
第4回		機器トリートメント ①パター2回目②高周波(直接法)
第5回		機器トリートメント①高周波(間接法)②ファラディック
第6回	ボディ実習	フットケア
第7回	フェイシャル実習	肌トラブル別トリートメント(ニキビ)(色素沈着)
第8回		肌トラブル別トリートメント(老化肌)(乾燥肌)
第9回		実技試験に向けて
第10回	フェイシャル実習(実技試験)	実技試験

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に4/5以上出席した者を対象として、実技試験の得点の学習成績(70点未満不合格)、出席状況等の評価点、授業態度等の評価点を総合した得点

使用教材

テキスト：新エステティック学 技術編 著者 一般社団法人 日本エステティック協会)出版社()
用具：必要に応じて指示します。

※備考:このシラバスは2年生 コスメコースBに対応

2023年度 年間授業計画 (クラス1)

科目名 運営管理	授業形態 演習	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 1年・前期	開講時間帯 金曜日 9:00 ~ 10:30
講座名 接客マナー	授業担当者 眞野聖子		実務経験 1)日本航空在籍40年;乗務職、教官職、管理職 2)講師;研修(管理職マネジメント、新入社員、ホスピタリティ他)		

授業概要

社会人としての基本である人とのコミュニケーションの第一歩を接客/接客のマナーから学ぶ。技術のスキルと同じく非常に重要なマナーとして理解し、実践へ繋げる。相手(お客様、同級生や関わる方全て)が心地よいと感じるものであり、双方向コミュニケーションである。

達成目標

- ①接客と接客の違いを把握する ②接客マナーの5原則を意識しなくても出来るように身に付ける
③ホスピタリティ(お互いに共創する、嬉しいを共有する)の実践。

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回	4月28日	接客と接客	知識:「おもてなし接客」概要(必要性、目的、接客と接客の違い) 接客マナーの5原則、ホスピタリティとサービス
第2回	5月12日	接客マナーの5原則	知識 & 実技 接客マナーの5原則 1) 表情 (笑顔、アイコンタクト) (第一印象、好感、非言語表現)
第3回	5月19日	接客マナーの5原則	知識 & 実技 接客マナーの5原則 2) 言葉遣い①(尊敬語謙譲語丁寧語) 3) 挨拶 (含む 正しい立ち方、姿勢)
第4回	5月26日	接客マナーの5原則	知識 & 実技 接客マナーの5原則 4) 身だしなみ (マナーブック) 5) 立ち居振る舞い① (所作、歩き方、座り方)
第5回	6月2日	接客マナーの5原則	知識 & 実技 接客マナーの5原則 2) 言葉遣い② クッション言葉他 5) 立ち居振る舞い②(ロールプレイ)
第6回	6月16日	接客マナーの5原則	総合演習(ロールプレイ) 接客マナーの5原則 定着度確認 *講師2名予定
第7回	6月23日	マナー	マナー応用編 電話対応、名刺交換
第8回	6月30日	接客と接客	講義: 顧客満足度とおもてなし 総括; 第6回のフィードバック(個人)、レポート作

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前: ・準備学習(自主トレーニング等)及び資料配布 ・ミラー(メイクアップ用)、割り箸、第8回は名刺(自作)
授業後: ・毎回 自主トレーニング課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100~90点を「5」、89~80点を「4」、79~70点を「3」、69~60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト: 配布資料のみ (授業担当者持参)
用具: テレビモニター(パワポ上映:第1回から第5回) *ホール使用希望 第4, 5, 6回

オフィスアワー その他

曜日 : ~	■テスト; 中間なし 期末 筆記 & 実技(ロールプレイ)授業6回で実施
--------------	--------------------------------------

2025年度 年間授業計画 (作成例)

科目名 運営管理	授業形態 演習	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 2年・前期	開講時間帯 水 曜日 13:00 ~ 14:30 3 時限
講座名 運営管理①	授業担当者 佐藤		実務経験		

授業概要

社会人・職業人として自らが進む方向に関して、さまざまな情報を取り入れながら、明確なイメージを形作る。

達成目標

- ・社会人にふさわしい基本的知識・行動様式を身につける。
- ・基本的な仕事のスキルを身につける。

授業計画

回	単元名	内容
第 1回	05月13日	コスメティックサロンの理解
第 2回	05月20日	サロンにおけるビジネス・キャリア
第 3回	05月27日	サロン内のコミュニケーション
第 4回	06月03日	サロンのメディア活用、ビジネス用語集
第 5回	06月03日	サロンの器具・用具
第 5回	06月17日	ビューティコーディネーターの仕事
第 6回	06月24日	ビューティコーディネーターとは
第 7回	07月01日	美容メニューの基本知識
第 8回	07月08日	生産性を高めるフロアマネジメントワーク
		ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、実技試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト： タイトル「 」著者「 」出版社「 」

用具：

オフィスアワー

その他

曜日	
:0 ~ :0	

2023年度 年間授業計画

科目名 文化論	授業形態 講義	履修区分 必修	単位数 1	履修時期	開講時間帯 曜日 ~ 時限
講座名 ファッション文化史西洋編	授業担当者	実務経験			

授業概要

西洋文化史における美容についての近代から現代までの変遷を学ぶ

達成目標

国家試験合格レベルに到達する、時代ごとの社会背景と髪型・化粧・服装の具体的な事柄についての知識の習得

授業計画

回	日付	単元名	内容
第 1回		第8節~ 第10節	第8節 近代I概要 ~ 第10節 現代I化粧
第 2回		第10節 ~第12 節	第10節 現代I服装 ~ 第12節 現代III服装
第 3回		第13節 ~第14 節	第13節 現代IV概要 ~ 第14節 現代V服装
第 4回		第14節 ~第15 節	第14節 現代V服装 ~ 第16節 現代VII
第 回			
第 回			
第 回			
第 回			

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100~90点を「5」、89~80点を「4」、79~70点を「3」、69~60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル [] 著者 [] 出版社 []

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー [] その他 []

曜日 :	~
---------	---

2025年度 年間授業計画

科目名 保健	授業形態 演習	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 後期	開講時間帯 月 曜日 ~ 時限
講座名 皮膚科学	授業担当者 吉松 石渡	実務経験 吉松16年 石渡7年			

授業概要

皮膚の構造とその基本的な働きについて

達成目標

美容従事者となる為、国家試験に必要な皮膚の構造、名称、働きについて理解する

授業計画

回	日付	単元名	内容
第 1回	9月4日	1章	皮膚の構造(表皮、真皮、皮下組織)皮膚の部位差について
第 2回	9月11日	2章	皮膚付属器官(毛、立毛筋、脂腺、汗腺、爪 の構造と働き)
第 3回	9月25日	3章	皮膚の循環器系と神経について
第 4回	10月2日		前回までの復習と演習問題
第 5回	10月16日	4章	皮膚の生理機能(対外保護作用、体温調節、知覚作用)
第 6回	10月23日	5章	皮膚と皮膚付属器官の保健(皮膚と全身状態、精神、栄養、ホルモン、手入れ)
第 7回	10月30日	6章	皮膚の異常とその種類
第 8回	11月6日		前回までの復習と演習問題

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： 必要に応じて準備学習の指示及び資料の配布

授業後： 資料の見直し

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、実技試験の得点・提出物の評価点等の平均成績(70点満点)、

出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「保健 授業関連のプリント配」著者〔 〕出版社〔 〕

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日 ： ~	
-----------	--

2025年度 年間授業計画

科目名 保健	授業形態 演習	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 後期	開講時間帯 曜日 ~ 時限
講座名 皮膚科学	授業担当者 吉松 石渡		実務経験 吉松16年 石渡7年		

授業概要

皮膚の疾患について

達成目標

美容従事者として必要な基本的な皮膚の疾患について理解する

授業計画

回	日付	単元名	内容
第9回	11月13日	6章	皮膚炎と湿疹
第10回	11月20日	6章	皮膚疾患(色素異常、分泌異常)
第11回	11月27日	6章	皮膚疾患(化膿菌、真菌、ウイルスによっておこるもの)
第12回	12月4日		復習と演習問題
第 回			
第 回			
第 回			
第 回			

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： 必要に応じて準備学習の指示及び資料の配布 授業後： 資料の見直し
--

評価方法

評価は、授業に2/5以上出席した者を対象として、実技試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。
--

使用教材

テキスト：タイトル「保健」著者〔 〕出版社〔 〕 用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー

その他

曜日 ： ~	
-----------	--

2025年度 年間授業計画

科目名	感染症	履修区分	必修	単位数	1	履修時期	前期	開講時間帯	水	曜日	1～4	時限	9:00～16:10
講題名	感染症	授業形態	演習	実務経験	川本・大出	授業担当者	川本・大出	大出:初年度					

授業概要

感染症の知識の習得

達成目標

美容師が安全で良質なサービスを提供できるよう感染症について正しい知識を習得する

授業計画

回	単元名	内容
第1回	第1章 1節	感染症総論 人と感染症について
第2回	第1章 2節	感染症総論 病原微生物について
第3回	第1章 3節	感染症総論 感染症の予防
第4回	第1章	第1章 1～3節の復習・演習(演習を通し習得度確認)
第5回	第2章 1節 2節	感染症各論 理容業・美容業と感染症 主な感染症
第6回	第2章 3節	感染症各論 具体的な対策の例
第7回	第2章	第2章 1～3節の復習・演習(演習を通し習得度確認)
第8回		前期試験に向けて復習及び演習(演習を通し習得度確認)

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「」著者「」出版社「」
 用具：必要に応じて指示します。
 オフィスアワー
 その他

曜日 曜日
 :0 ～

2020年度 年間授業計画

科目名	感染症	履修区分	必修	単位数	1	履修時期	後期	開講時間帯	水	曜日	1～4	時限	9:00～16:10
講題名	感染症	授業形態	演習	実務経験	川本・大出	授業担当者	川本・大出	大出:初年度					

授業概要

左記に同じ

達成目標

・左記に同じ

授業計画

回	単元名	内容
第9回	第1章	第1章 1～3節の復習・演習(演習を通し習得度確認)
第10回	第2章	第2章 1～3節の復習・演習(演習を通し習得度確認)
第11回		全体を通して復習及び演習
第12回		後期試験に向けて復習及び演習(演習を通し習得度確認)
第13回		
第14回		
第15回		
第16回		

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「」著者「」出版社「」
 用具：必要に応じて指示します。
 オフィスアワー
 その他

曜日 曜日
 :0 ～